



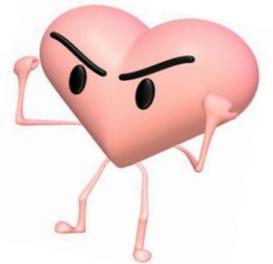
2018.9.1 No.21

えんしゅうびょういん 情報紙

【担当：臨床工学科⑤】

** 心臓カテーテル検査 その3 Q&A **

第19号、第20号でご案内した内容をQ&A形式で集約しました。
ぜひ、一緒に見てください。



〔質問①〕 心臓カテーテル検査ってなに？

〔回答①〕 心臓病の診断には、胸部 X 線写真・心電図・超音波検査・核医学検査など様々な検査がありますが、これらの検査に加えて、更に正確な情報を得るために、そして、今後の治療方針を決定するために必要な検査方法です。

特に虚血性心疾患、「狭心症」や「心筋梗塞」を診る時に重要な検査です。

〔質問②〕 具体的にどのようにしておこなうの？

〔回答②〕 局所麻酔をおこなった後、血管に針を刺して、そこからカテーテルと呼ばれる合成樹脂でできた細長く柔らかい医療用の管を挿入し心臓まで進めます。

冠動脈(心臓の筋肉に血液を供給している血管)や左心室に造影剤を注入し、X線透視下で冠動脈の狭窄の程度、心臓の動きを評価します。

〔質問③〕 心臓カテーテル検査は、痛みを感じますか？

〔回答③〕 心臓カテーテル検査では、カテーテルの管を通す部位の麻酔(局所麻酔)のみを行います。局所麻酔は通常の注射と同じで、針を刺す時の痛みがあります。局所麻酔後、血管に管を通す時などは麻酔が効いた状態で行います。

通常は強い痛みを感じることはありませんが、痛みが強い場合は麻酔の追加を行い痛みを和らげます。



〔質問④〕 検査中に会話はできますか？

〔回答④〕 会話は可能です。検査中は仰向けになって検査台に寝ているだけであり、通常局所麻酔が効いてしまえば痛みを感じることはほとんどなく、意識のある状態で検査は行われます。

痛みや症状、また不安があれば遠慮なくお伝えください。

〔質問⑤〕 どのくらい時間がかかりますか？

〔回答⑤〕 一般的な心臓カテーテル検査は、30分～1時間程度の短時間で検査することができます。通常の検査では、左右それぞれの冠動脈造影と左心室造影を行います。が、病状によっては撮影部位を追加することがあります。また、血管の状態によっては、1時間以上検査時間を要する場合があります。

〔質問⑥〕 検査を行うのは誰ですか？

〔回答⑥〕 循環器内科医師が行います。

心臓カテーテル室には、その他にも看護師、臨床放射線技士、臨床工学技士、臨床検査技師など多くのスタッフがチームとして携わります。

〔質問⑦〕 検査後は、どのように過ごしますか？

〔回答⑦〕 検査後、カテーテル挿入が手首であれば座ることも可能であり安静時間も短いですが、脚の付け根（そけい部）であれば4～6時間は仰向け状態での安静が必要となります。食事は、カテーテル検査後、1時間後が目安となります。

※水分は検査後すぐから摂取していただけます。

〔質問⑧〕 心臓カテーテル検査の結果から、なにを決めるの？

〔回答⑧〕 検査結果により、虚血性心疾患の治療法を決定します。治療法には大きく分けて「内服薬のみ」「カテーテルによるステント治療」「外科的バイパス手術」の3通りの方法があります。

カテーテル検査の結果を考慮して最適な治療を考えることとなります。

*取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。【監修:ふれあい編集部】